

令和5年度福岡市中央保健所運営協議会議事録

1 日 時 令和5年9月1日（金） 15時55分～16時45分

2 場 所 中央保健所（あいれふ） 7階 第2研修室

3 出席者 あべ委員 池田委員 稲員委員 小野委員 角野委員
郡嶋委員 佐藤委員 杉元委員 辻委員 永田委員
西村委員 西山委員 はしだ委員 南委員 山野井委員

(以上15名, 五十音順)

欠席者 栗岡委員 河野委員 関坂委員 武居委員 松藤委員

事務局 山本保健所長 竹下健康課長 久原衛生課長 青木地域保健福祉課長

傍聴者 なし

4 開 会 定足数確認（委員20名中15名出席）

5 所長挨拶 山本保健所長

6 委員紹介 事務局

7 議 事

【議題1 会長及び副会長の選出について】

会長に稲員委員、副会長に佐藤委員を選出

【議題2 令和4年度事業報告について】

竹下健康課長、久原衛生課長、青木地域保健福祉課長が説明

〈質疑応答等〉 なし

【議題3 令和5年度主要事業について】

竹下健康課長、久原衛生課長、青木地域保健福祉課長が説明

〈質疑応答等〉

(委員) 令和4年度の報告のところで結核の新規患者は20代の方が多く外国人の方も多
いということだが、福岡に滞在されている外国人の方が発生されたということか。
また、令和5年度においてどのような対策をしているのか。

- (事務局) 日本に滞在する外国人の方が発生したり、技能訓練や学校等で発生している患者もいる。日本にいる市民は元々ワクチンを打ち免疫がついている方が多い。対策としては、学校での検診を勧めるなど、啓発を引き続き進めていく。
- (委員) 食中毒に関して、あるイベントで購入したお弁当でサルモネラ菌の食中毒が発生したことがあった。気温も上がりこれから食中毒のリスクが大きくなると思う。イベントも非常に増えているのでイベント業者や出店者に対する啓発していただきたいがその辺りはいかがか。
- (事務局) 本年度の主要事業「食の安全・安心プロモーション」でも挙げているように、事業者の方へ食中毒予防の衛生講習会等を行う。また、地域の夏祭り等も再開されており屋外での調理は食中毒の危険性も高いため、事前にしっかりと調理内容等について確認し、どのような点に注意したらよいか丁寧に助言していく。
- (委員) 措置入院者の退院後の支援として関係機関と連携をとりながら家庭訪問を行うとなっているが、再入院のリスクや急な病状の変化も考えられる。家庭訪問の際どのような体制や対策をとっているのか。
- (事務局) 退院後支援に同意した方を対象に医療機関と連携しながら、まず入院中の病院での状況や主治医からの指示を受けて、本人、関係機関と退院後の生活について会議を行う。家庭訪問の際はなるべく障がい者基幹相談支援センターや訪問看護、健康課や地域保健福祉課の校区担当保健師と複数での訪問を心掛けている。退院後の状態にもよるが、落ち着いていて医師の指示のもと服薬もきちんとされている方も多く、一人ひとりの状況に応じた訪問体制をとっている。
- (委員) レジオネラ症対策のところ、温泉とか循環式の浴槽水については行政検収をされているということだが、具体的な頻度はどのくらいか。
- (事務局) レジオネラ症は浴槽水を原因として発生することが多いため、公衆浴場や旅館、抵抗力の弱い高齢者などが利用する社会福祉施設の入浴施設等に対して立入指導を行っている。特にレジオネラ症発生リスクの高い循環式浴槽を設置している施設については、毎年浴槽水の採水検査を行い、重点的に監視指導を行っている。

8 閉 会 稲員会長より閉会の辞